

「土地に寄り添う文学」

入場
無料



青来 有一氏
(作家)



対談



松村 由利子氏
(歌人)

コーディネーター 大城 貞俊氏
(沖縄国際大学非常勤講師)

土地に根ざし、その土地に生きる人々の喜び、哀しみ、怒り……さまざまな感情の交錯から文学が生まれます。

キリシタン殉教と原爆という二つの悲劇が刻まれた長崎に生まれ育ち、「土地の記憶」を書き続けてきた作家青来有一氏。新聞記者として20年余働いた後、フリーランスとなって石垣島へ移り住み、都市と離島を行き来しながら新しい表現を模索している歌人松村由利子氏。ナガサキとオキナワを視座に、土地に寄り添う二人が語り合います。

日時

2016年3月12日(土) 14:30 表彰式、記念対談(14:00開場)
17:30 終了予定 ※表彰式からご参加ください。

会場

沖縄県立博物館・美術館
(沖縄県那覇市おもろまち3-1-1 TEL098-941-8200)

定員

150人 (申し込み先着順)

※当日、会場先着50人に「文学界」4月号(第46回九州芸術祭文学賞最優秀作・野見山潔子さん「黒い湿った土のにおい」掲載)をプレゼントします。

お申し込み

往復はがき、またはメールで名前、住所、連絡先の電話番号を記載してお申し込みください。メールの場合は件名に「対談参加希望」と明記してください。折り返し整理番号を返信します(当日の受け付け時に整理番号が必要です)。

往復はがき

〒900-8570 沖縄県那覇市泉崎1-2-2
沖縄県文化振興課 九州芸術祭文学賞担当 宛て

メール

aa058106@pref.okinawa.lg.jp

主催

(公財)九州文化協会、沖縄県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、福岡市、北九州市、熊本市

共催

沖縄県文化協会、西日本新聞社、福岡文化連盟

後援

琉球新報社、沖縄タイムス社